



郷土愛からつなぐ未来 ず〜っと大好きなまち旭

旭市新庁舎建設「基本設計」(素案)

※本文中の画像はイメージ図であり、今後変更する場合があります。

旭市

目次

1. 設計方針 《P1》

- (1) 6つの基本方針

2. 計画概要 《P2～P14》

- (1) 敷地概要
- (2) 建築概要
- (3) 配置計画
- (4) 平面計画
- (5) 立面計画
- (6) 断面計画
- (7) 構造計画

3. わかりやすく使いやすい庁舎 《P15～P19》

- (1) 目指す姿
- (2) 来庁者にとって利用しやすい窓口
- (3) 来庁者の利用動線に沿ったサイン計画

4. 防災・安全対策 《P20～P23》

- (1) 旭文化の杜公園と連携した防災拠点
- (2) 庁舎全体で災害に向き合う計画
- (3) 防災計画
- (4) セキュリティ計画

5. 生涯コストを抑えた施設整備 《P24～P27》

- (1) 長寿命庁舎を実現する建築技術
- (2) 環境計画
- (3) 電気設備計画
- (4) 空調換気設備計画
- (5) 給排水衛生設備計画

6. 新しいまちづくりの拠点 《P28～P32》

- (1) 市民の創造する意欲を盛り上げる場
- (2) 外観パース
- (3) 内観パース

7. 工事計画 《P33》

- (1) 概算事業費
- (2) スケジュール

1. 設計方針

(1) 6つの基本方針

旭市新庁舎建設基本計画に基づいた設計を行います。

①市民に開かれた庁舎

人にやさしく、わかりやすく、利用しやすい機能と安全性に配慮するとともに、市民のふれあいの場として親しまれる庁舎

②ユニバーサルデザイン※に対応した庁舎

すべての人が、安心して快適に利用できる庁舎

③住民自治の拠点となる庁舎

議会の独立性を保ちつつ、市民と行政が連携して、活発な市民の交流を促進する庁舎

④市民の安全・安心を支える庁舎

高度な耐震性や耐水性、防火性などの災害に対応できる機能を備え、地震や風水害などの災害時における防災拠点として機能する庁舎

⑤環境にやさしい庁舎

省資源・省エネルギー対策を図るため、それに配慮した設計と設備の導入を検討し、環境負荷の低減に配慮した庁舎

⑥行政需要の変化に対応できる庁舎

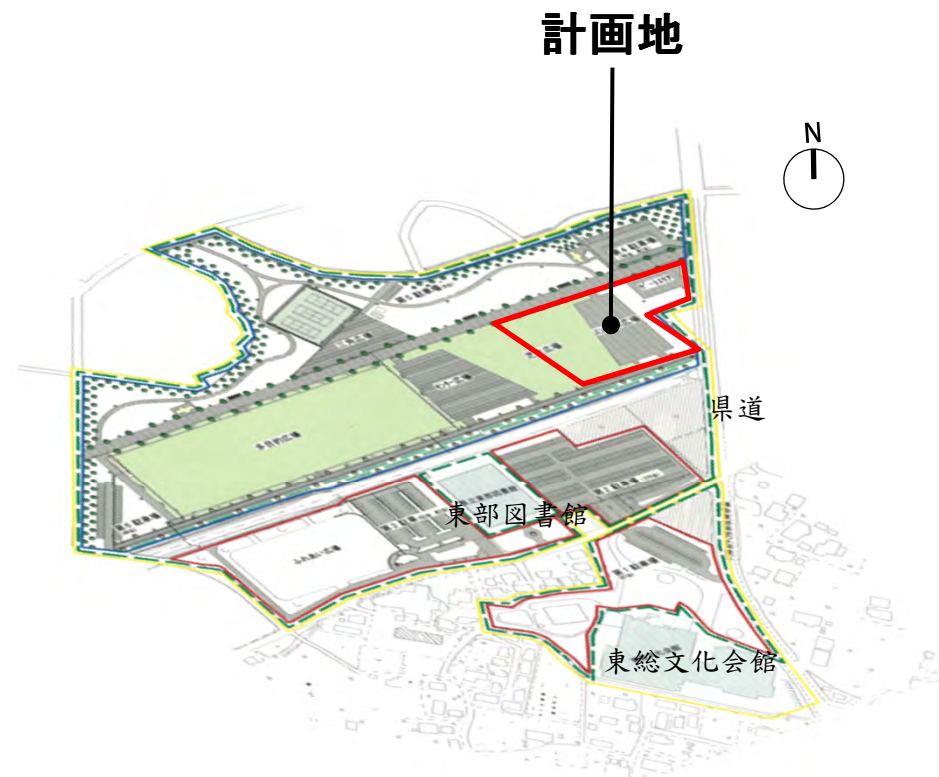
高度情報化や市民ニーズの多様化とともに、行政組織の変化などに対応できる機能的で柔軟性の高い庁舎

※ ユニバーサルデザイン＝障がいの有無や年齢などに関わらず、すべての人に使いやすいようにつくられたもの。

2. 計画概要

(1) 敷地概要

- ・建設地 : 旭市二の2132番地
- ・敷地面積 : 9,864m²
- ・許容建蔽率 : 60%
- ・許容容積率 : 200%
- ・地域地区 : 都市計画区域
用途地域無指定
- ・防火指定 : 無(22条地域)※
- ・日影規制 : 無指定
- ・前面道路 : 主要地方道
旭停車場線12m



※ 22条地域＝建築基準法第22条の規定により、建築物の屋根は不燃材などを使わなければならない。

(2) 建築概要

- ・主要用途 : 庁舎
- ・工事種別 : 新築
- ・建築種別 : 免震構造
- ・構造種別 : プレキャストPC造※1
(一部鉄骨造)
- ・建築面積 : 約4,200m²
- ・延床面積 : 約11,700m²(地下除く)
- ・容積率 : 約120%
- ・階数 : 地上5階、地下1階
(5階は展望室、機械室)
- ・最高高さ : 約24m
- ・基礎種別 : 杭基礎※2
- ・昇降機 : エレベーター3台
- ・駐車台数 : 192台 (来庁者用118台、公用車用74台)
- ・駐輪台数 : 35台

面積表

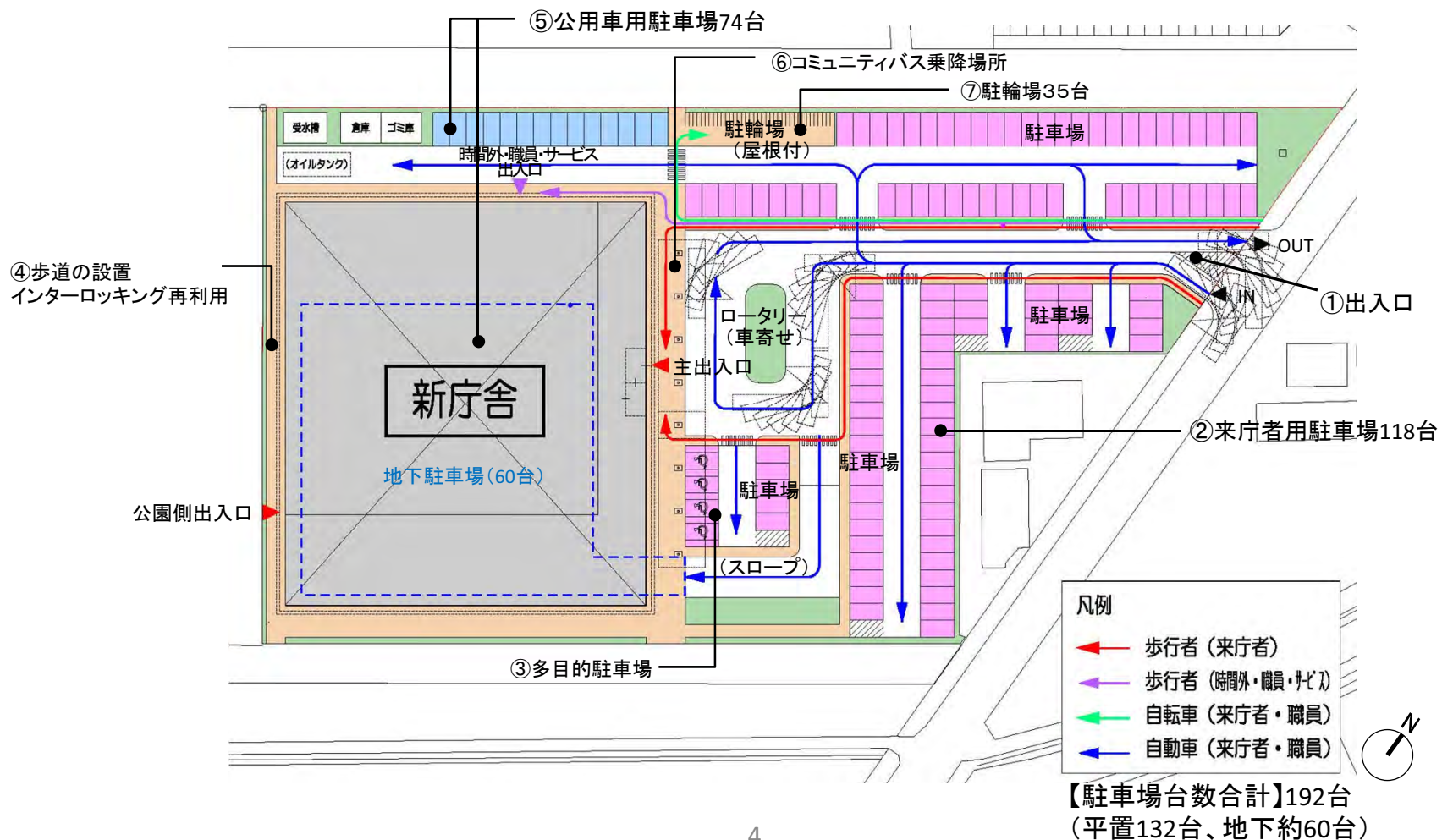
階	床面積(m ²)	備考
5	約800	
4	約2,200	
3	約2,200	
2	約2,800	
1	約3,700	車寄庇を除く
地上階計	約11,700	
地下	約2,500	
合計	約14,200	

※1 プレキャストPC造＝プレキャストプレストレストコンクリート造。工場で製造された鉄筋コンクリート製の部材による構造。

※2 地盤調査の結果により、決定する。

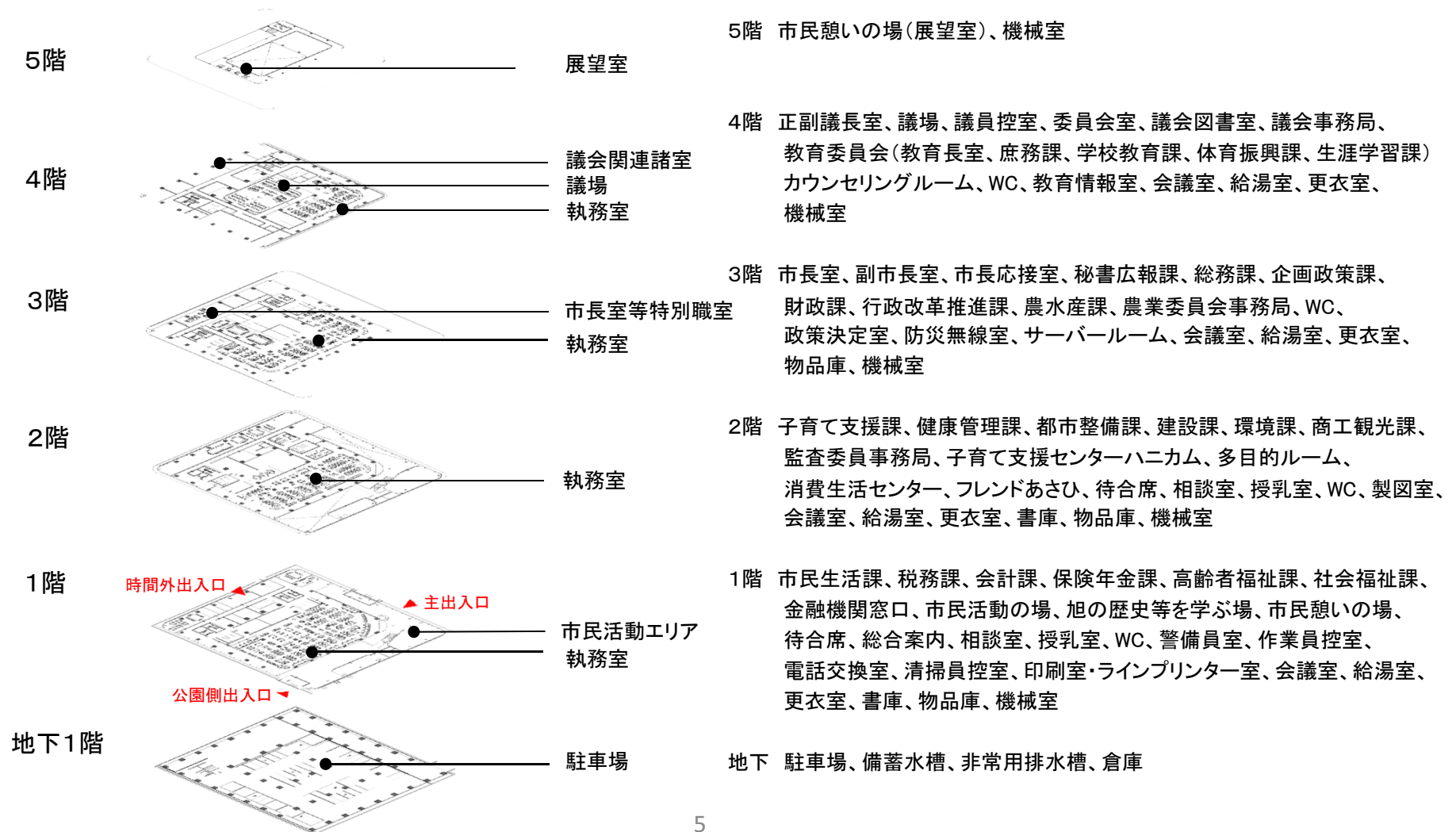
(3) 配置計画

新庁舎は、進入口から見て、わかりやすく、認識しやすい配置構成とし、旭文化の杜公園との連携に配慮した計画とします。



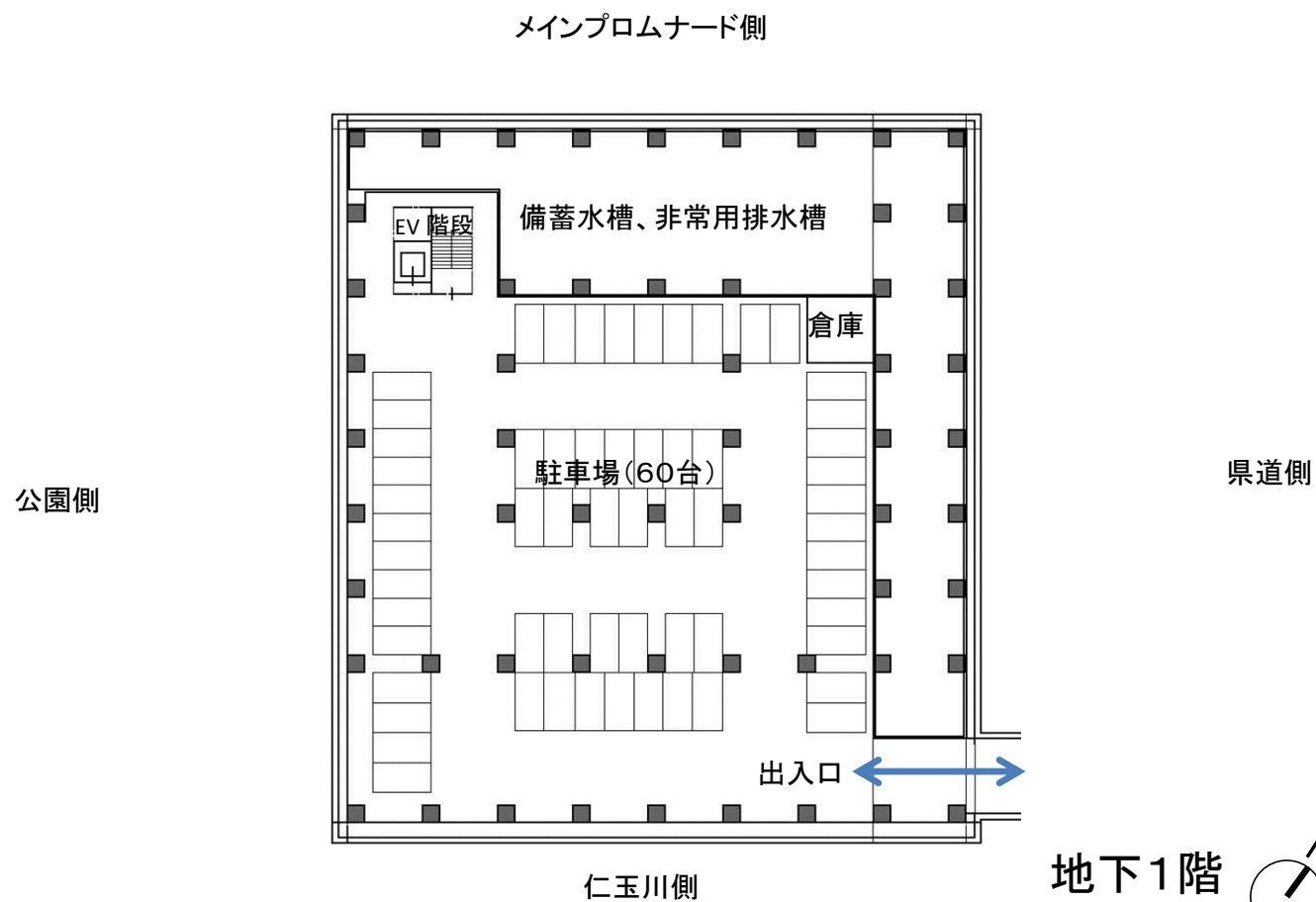
(4) 平面計画

全方位に開かれた開放的な低層階と、機能を集約したコンパクトな上層階で構成される計画とします。



①地下1階

駐車場(60台)や備蓄水槽、非常用排水槽などを設置します。



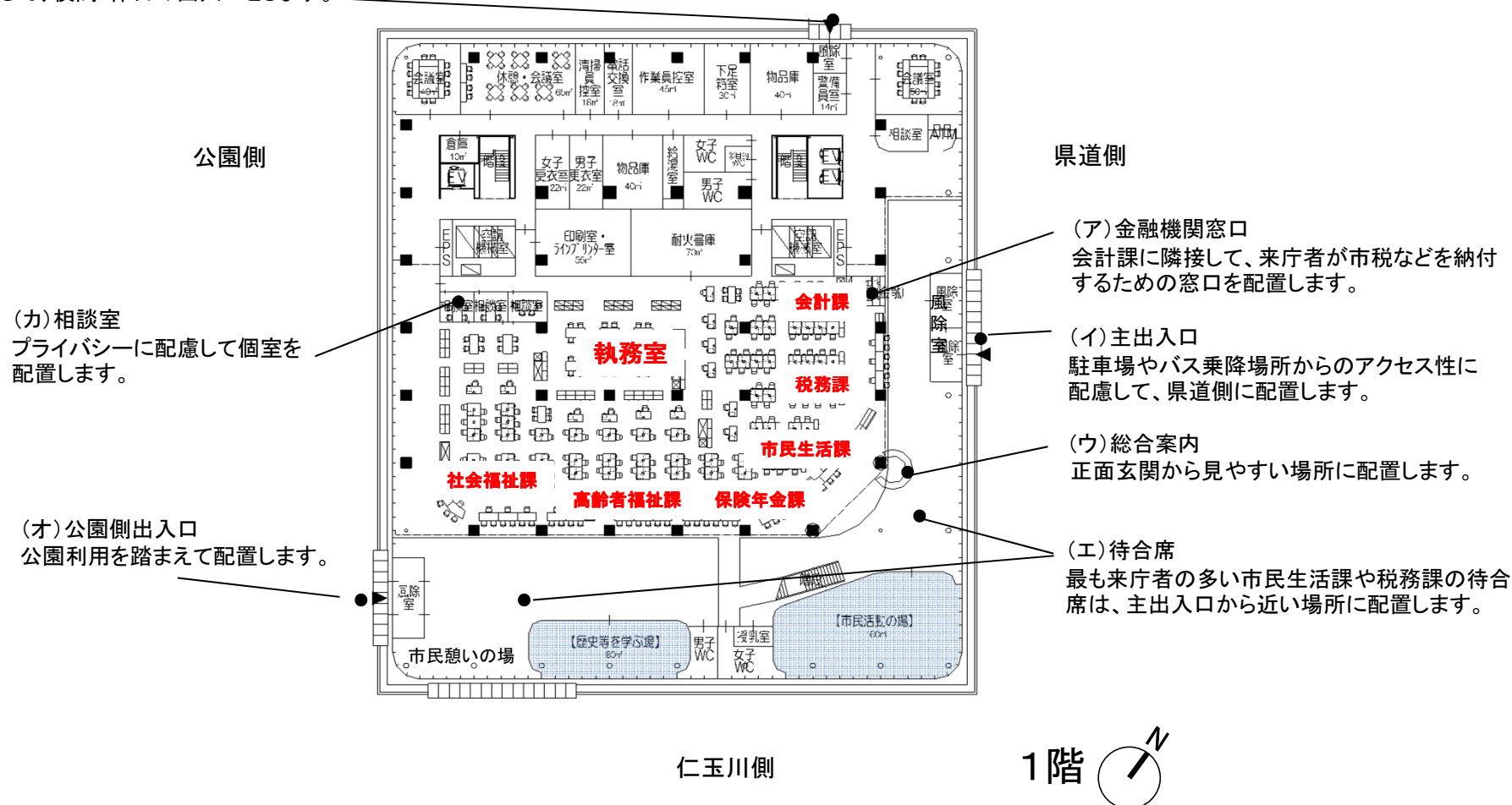
②1階フロア

市民の利用の多い部署や業務の連携度合を考慮して、市民生活課をはじめ、税務課や会計課、保険年金課を配置します。また、今後の高齢化に伴い、高齢者福祉課と社会福祉課を配置します。

(キ)時間外出入口

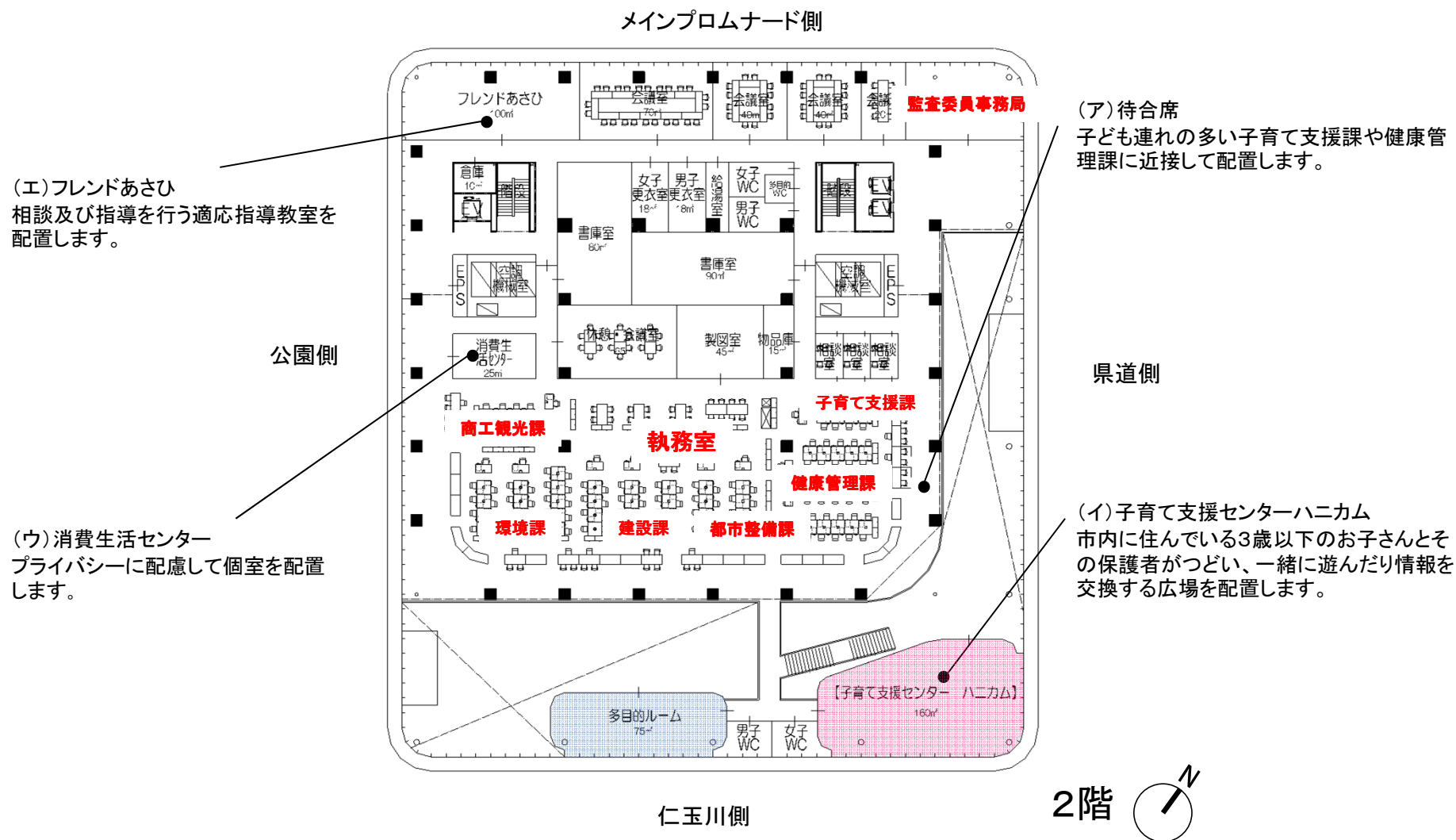
メインプロムナード側に、警備員室を配置して、夜間・休日の出入口とします。

メインプロムナード側



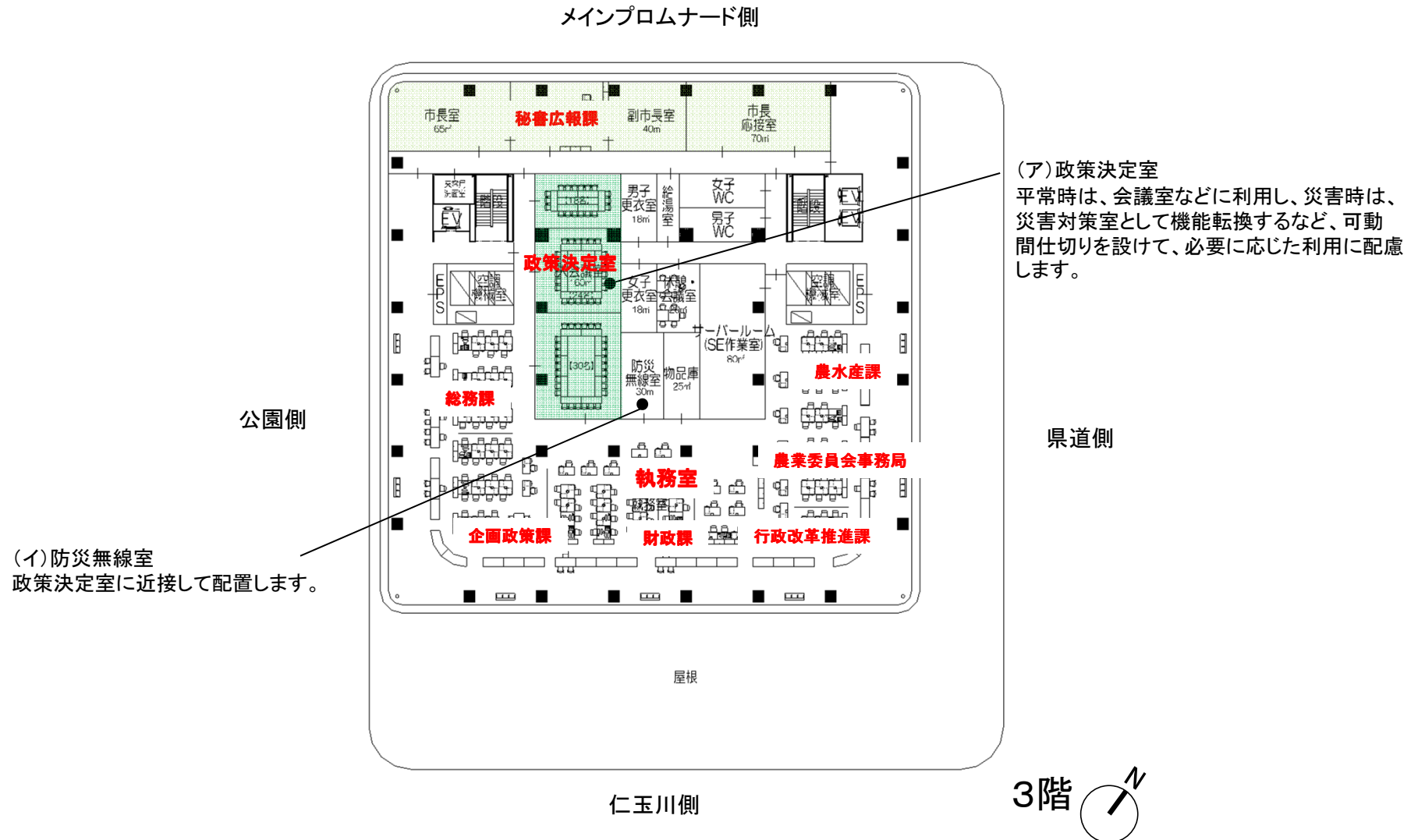
③2階フロア

市民の利用度と業務の連携度合を考慮して、子育て支援課と健康管理課を配置して、その隣に都市整備課と建設課、環境課を配置します。また、商工観光課と消費生活センターを配置して、メインプロムナード側に、監査委員事務局を配置します。



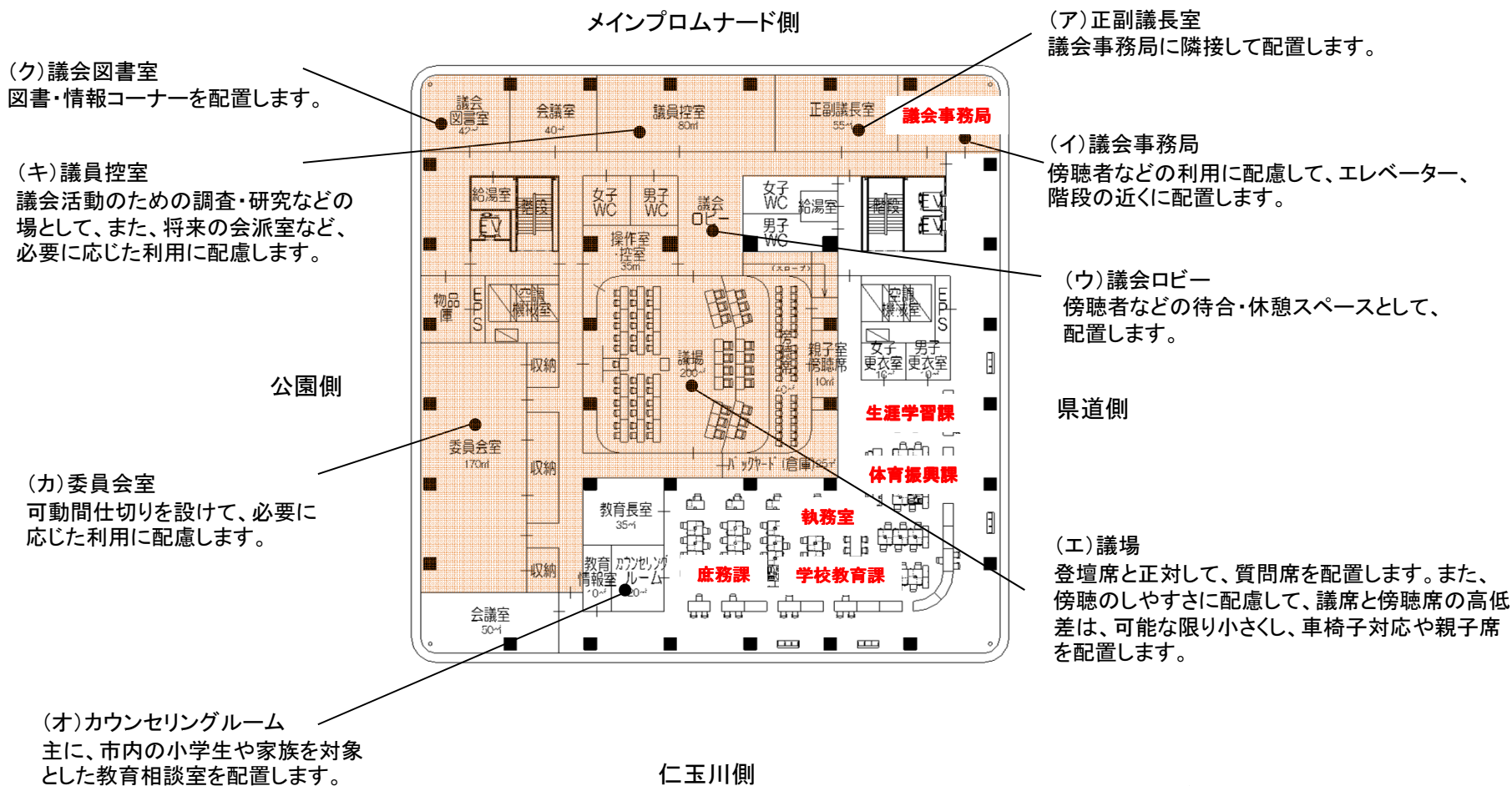
④3階フロア

市長室・副市長室をはじめ、秘書広報課や総務課、企画政策課、財政課、行政改革推進課を配置し、業務の連携度合を考慮して、農水産課と農業委員会事務局を配置します。



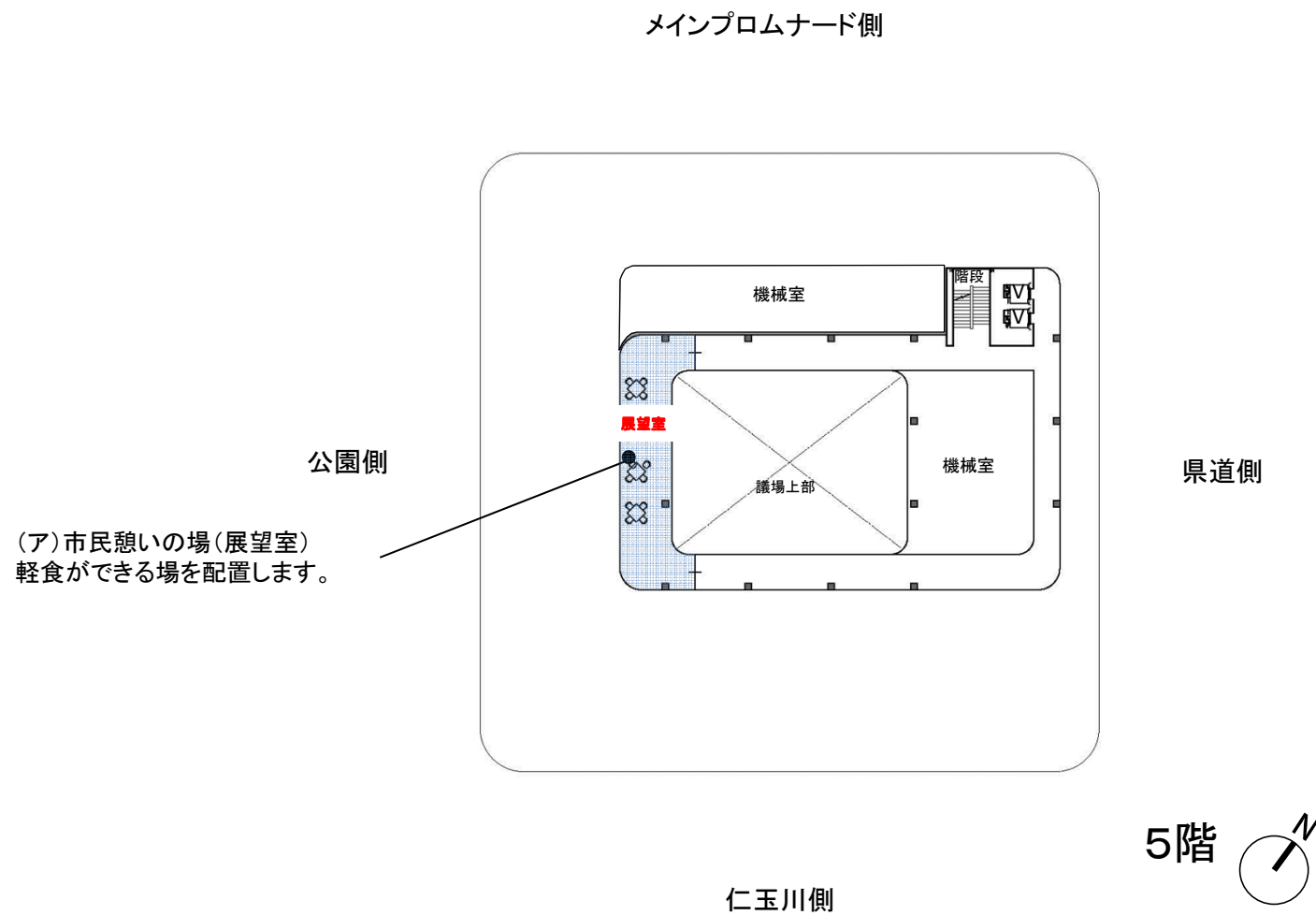
⑤4階フロア

議会関連諸室と教育委員会を配置します。議会関連諸室は、議会の独立性を保つため、議会機能と行政機能を区分して配置します。教育委員会は、教育長室をはじめ、庶務課や学校教育課、体育振興課、生涯学習課を配置します。



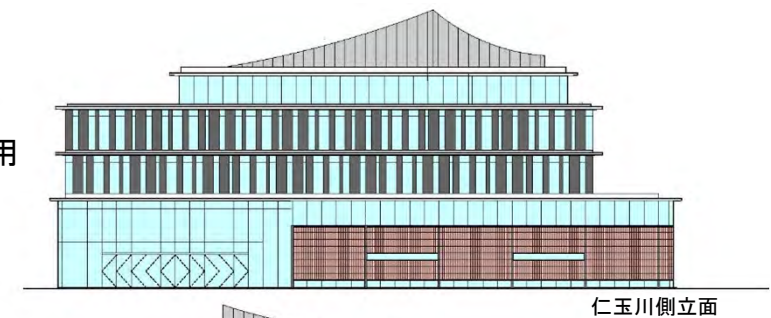
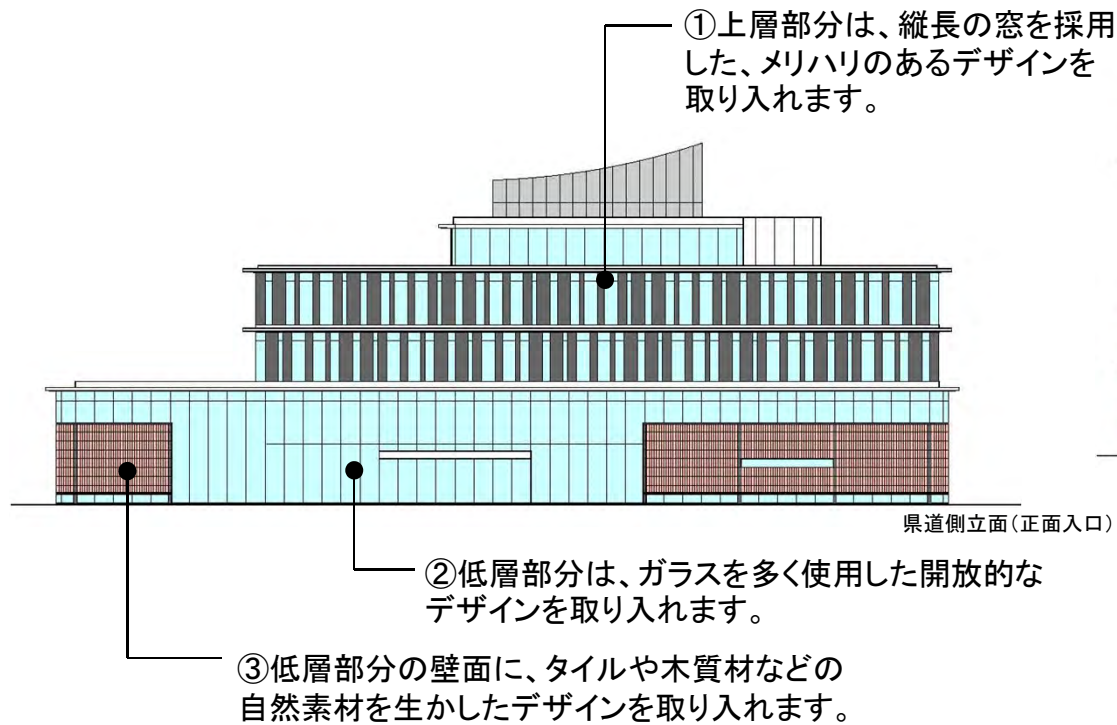
⑥5階フロア

議場の一部吹き抜けを利用して、回廊的な展望室を配置します。また、機械室を配置します。



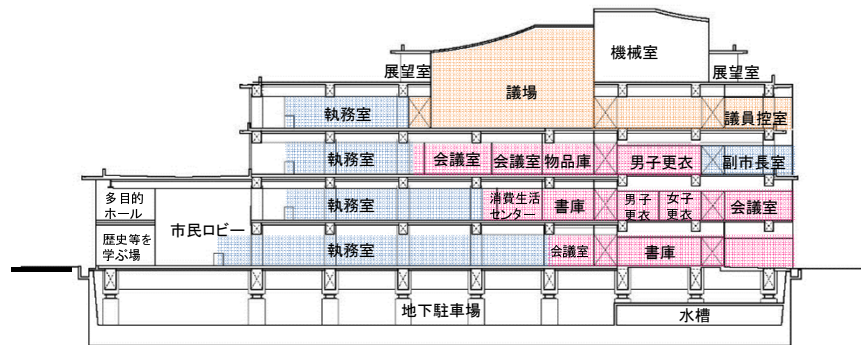
(5) 立面計画

色彩の使い分けや壁面の区切りにより、周囲に圧迫感を与えないようなデザインとし、白・黒・自然色を基調とした、旭の景観に調和した計画とします。

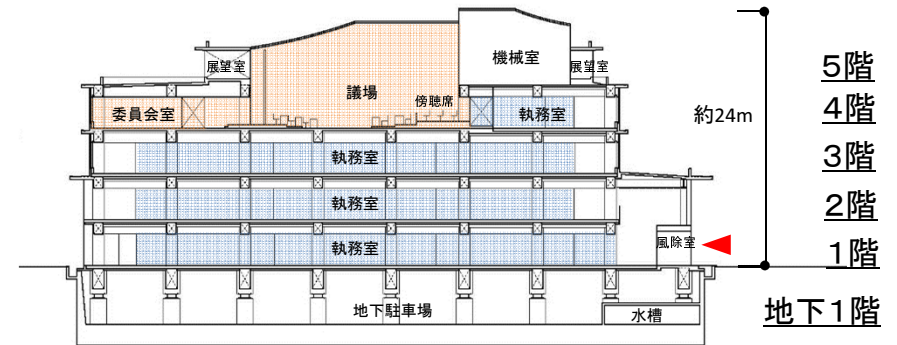


(6) 断面計画

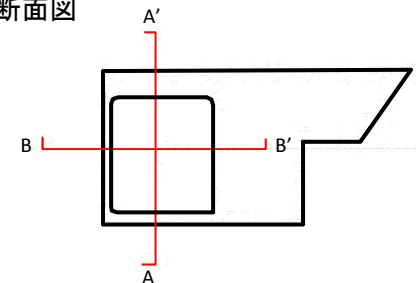
十分な空間を効率的かつ合理的に確保して、将来の機能更新や改修のしやすさに配慮した計画とします。



A(仁玉川側) - A'(メインプロムナード側)断面図

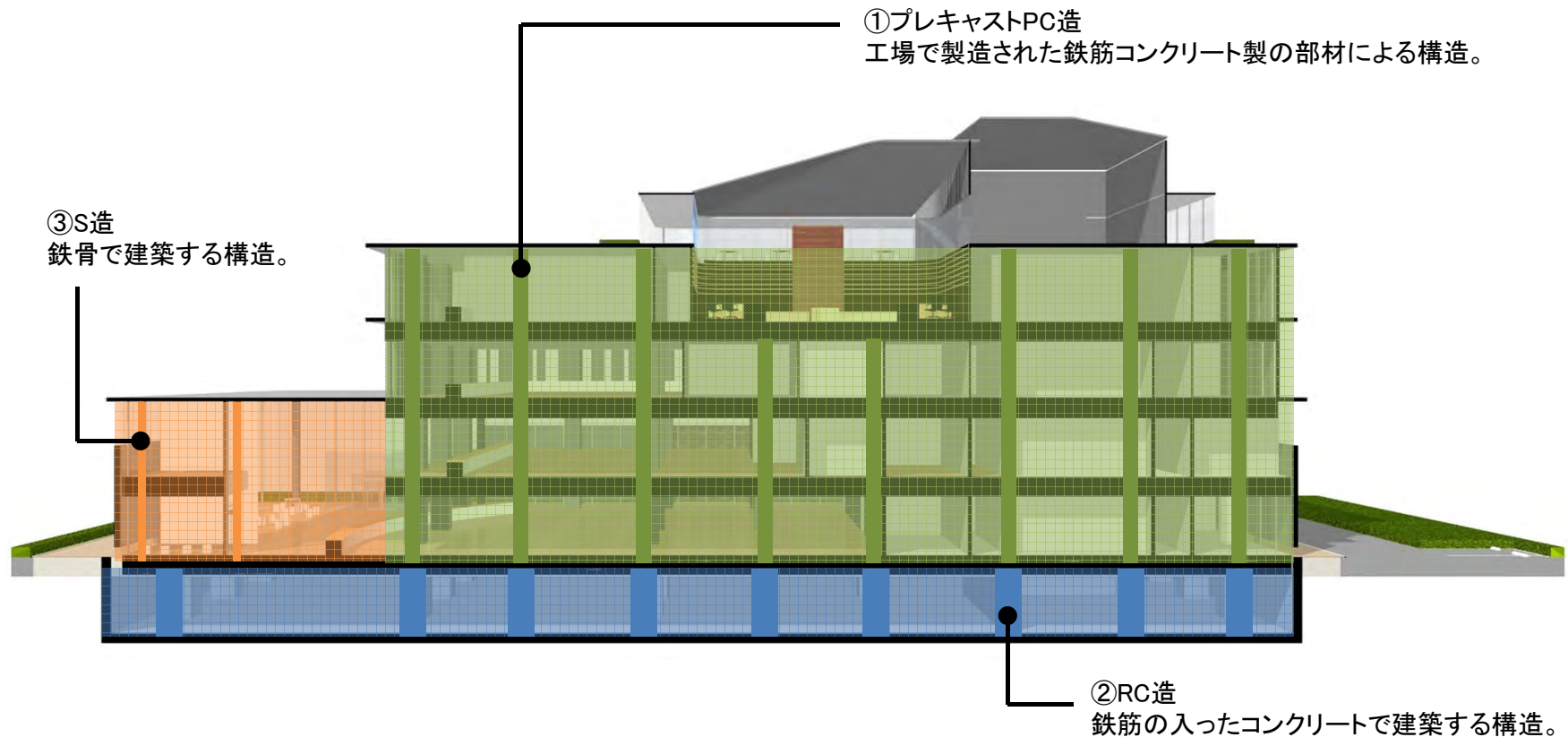


B(公園側) - B'(県道側)断面図



(7)構造計画

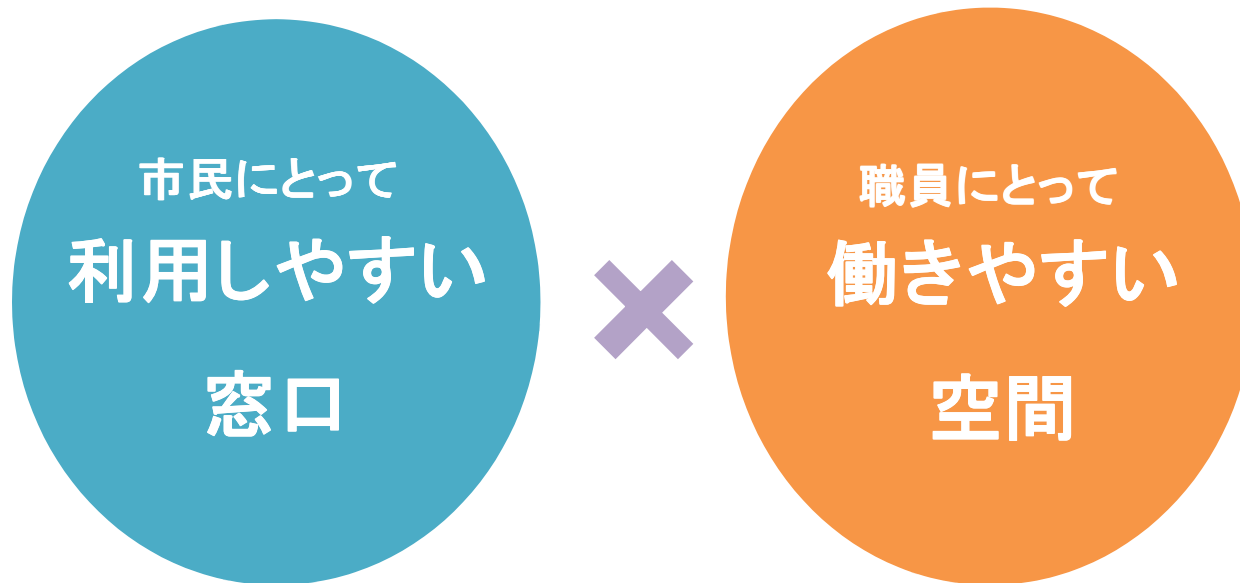
高度な耐震性や耐久性、防火性を備えるとともに、行政機能も維持できる、災害に強い合理的な構造体による安心・安全な庁舎を計画します。



3. わかりやすく使いやすい庁舎

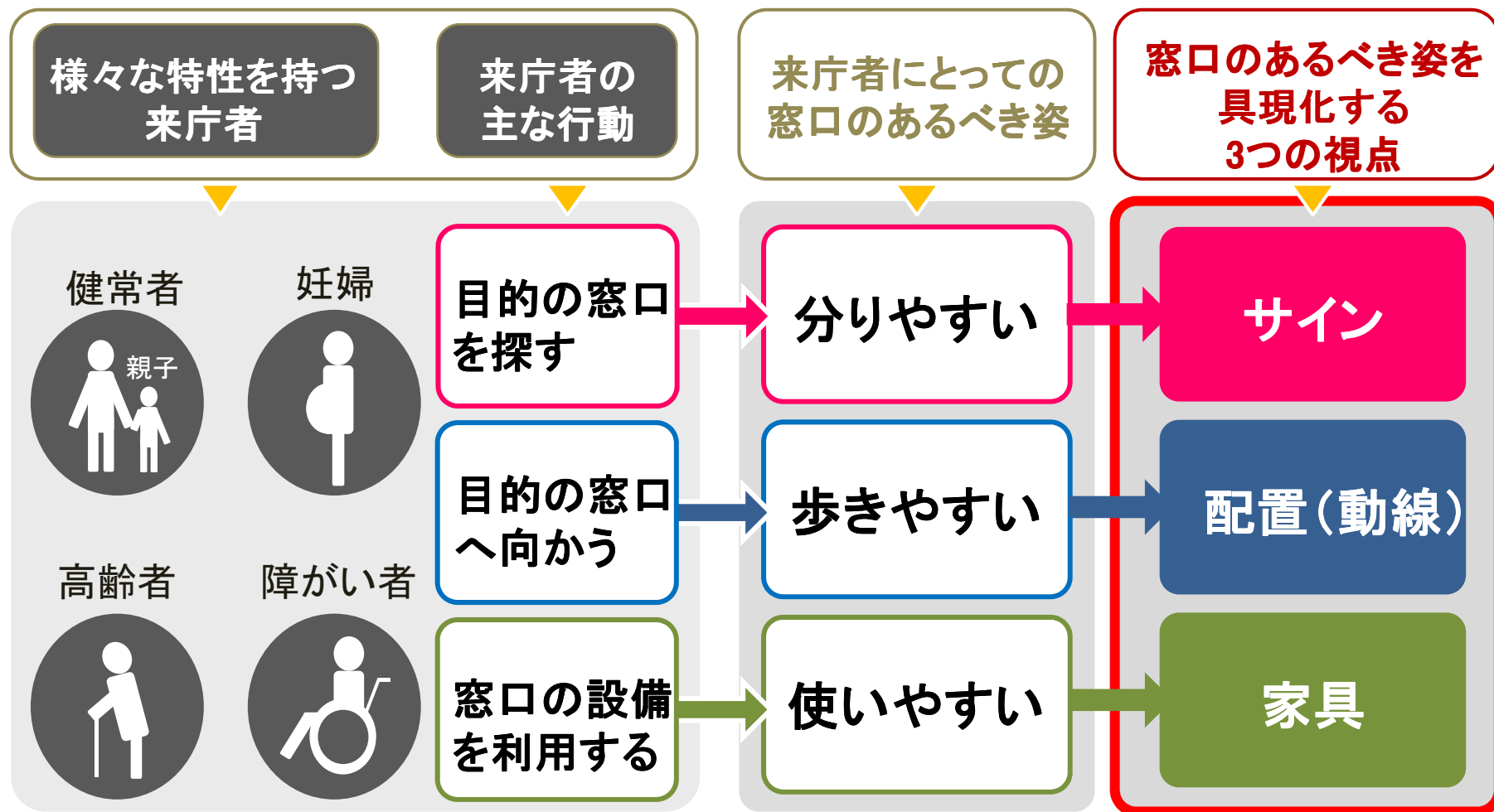
(1) 目指す姿

市民にとって利用しやすい窓口、職員にとって働きやすい空間、利用する市民とそこで働く職員の双方にとって、機能的で快適、安全・安心な環境をつくり、より一層の市民サービスの向上と事務効率の向上につなげます。



(2) 来庁者にとって利用しやすい窓口

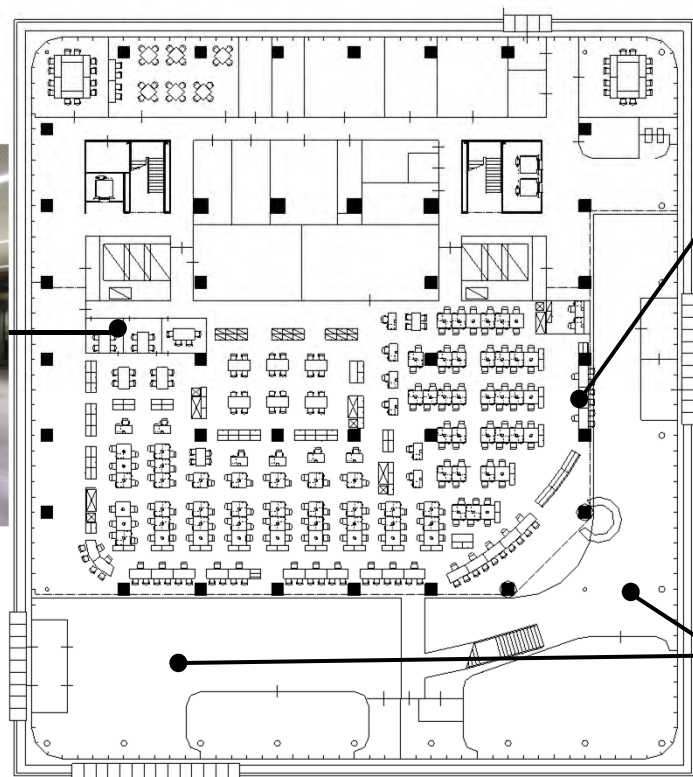
①ユニバーサルデザインに配慮した窓口空間を構築します。



②来庁者の安全・安心を確保するため、プライバシーに配慮します。



●相談室は、会話が外部に漏れないように、個室を配置します。



●窓口カウンターは、隣り合う来庁者の顔や手元が隠れるように、仕切りパネルを設置します。



●待合席は、窓口での会話を聞かれないように、窓口カウンターと正対させないで配置します。

(3) 来庁者の利用動線に沿ったサイン計画

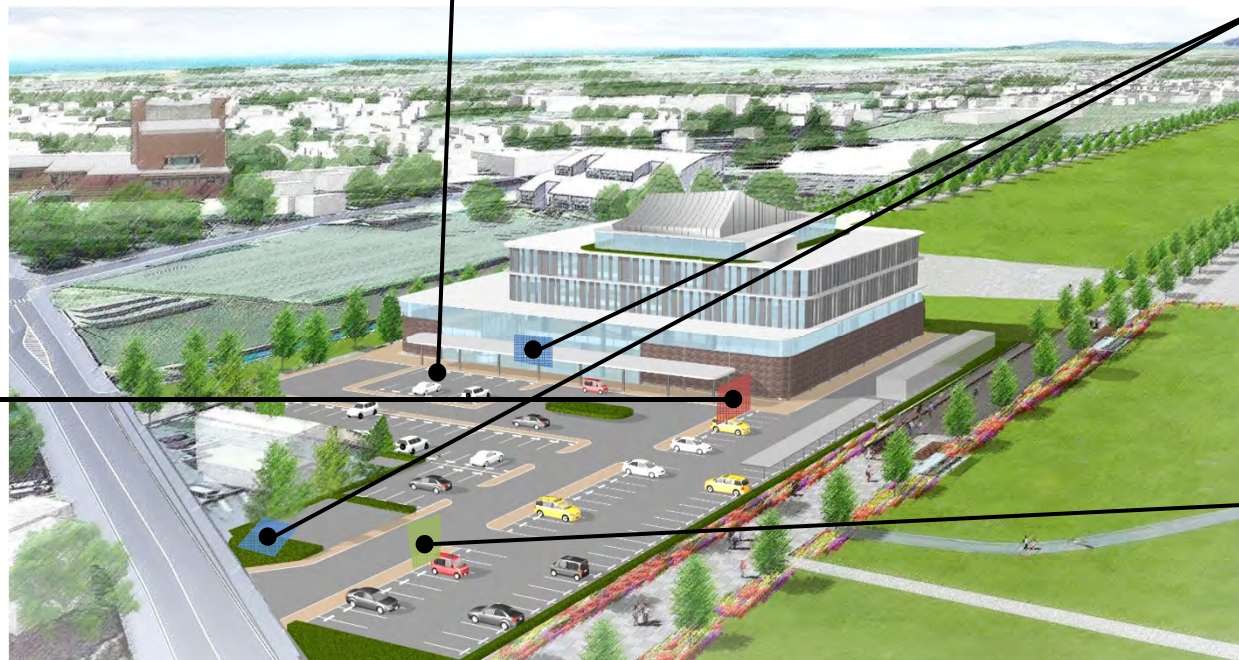
①外構のサイン

目的の場所を示す名称サインや目的地への方向を示す誘導サイン、また、敷地全体や現在地との位置関係を示す案内サインなどを、来庁者の動線、目線に考慮して、見やすく分かりやすい場所に設置します。

(エ)ユニバーサルデザイン
多目的駐車場や敷地内の段差、視覚障がい者用の誘導ブロックなどを計画します。

(ア)名称サイン
目的の場所を見つけるためのサインを設置します。

(ウ)案内サイン
敷地全体や現在地との位置関係をイメージするためのサインを設置します。



旭市役所



(イ)誘導サイン
目的の場所に向かって移動してもらうためのサインを設置します。



②建物内のサイン

建物全体や現在地との位置関係を示す案内サイン、また、目的地への方向を示す誘導サイン、特に、来庁者の多い窓口には、部署の名称に加えて業務内容を示す名称サインを、来庁者の動線、目線に考慮して、見やすく分かりやすい場所に設置します。

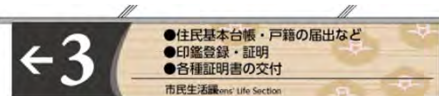
(ウ) 名称サイン

部署の名称に加えて業務内容などを示すサインを設置します。



(イ) 誘導サイン

目的の場所に向かって移動してもらうためのサインを設置します。



(エ) ユニバーサルデザイン

建物内の段差や視覚障がい者用の誘導ブロック、車椅子がすれ違える幅などを計画します。



(ア) 案内サイン

建物全体や現在地との位置関係をイメージするためのサインを設置します。

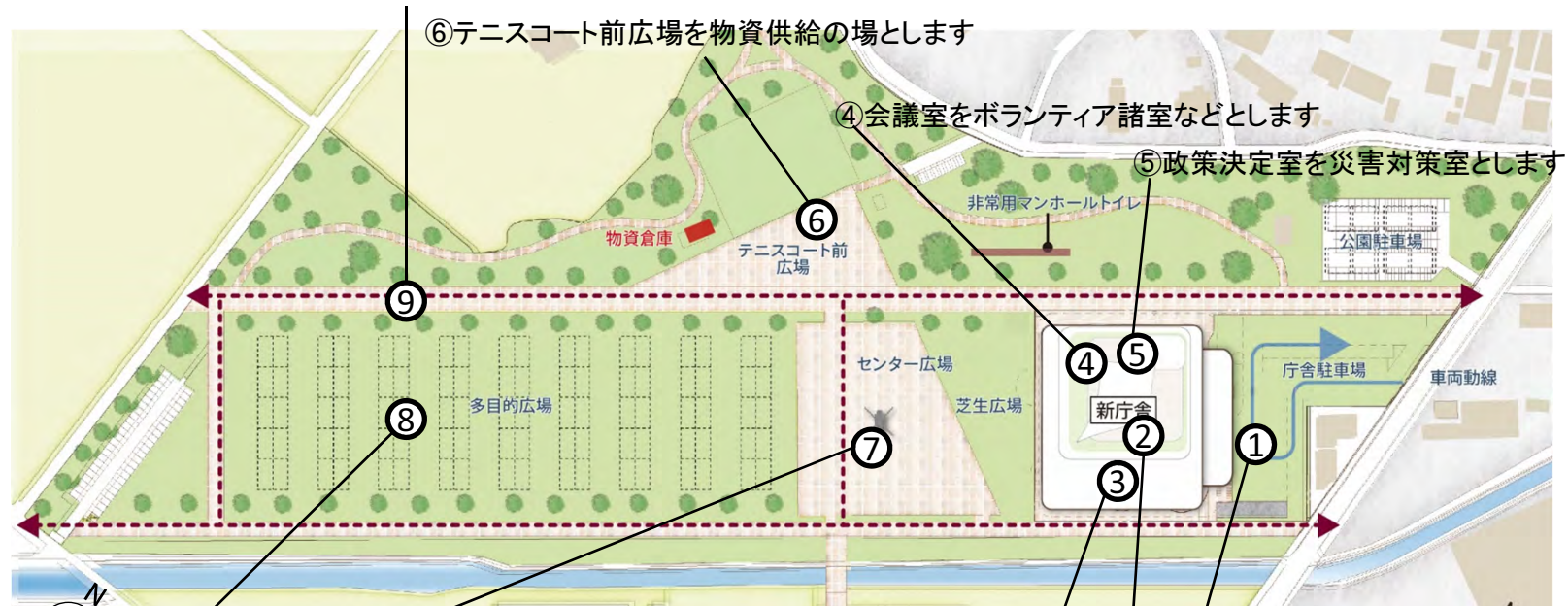


4. 防災・安全対策

(1) 旭文化の杜公園と連携した防災拠点

防災拠点として、災害時は、来庁者用駐車場を避難・救護の場として、また、新庁舎の市民活動エリアなどを救護・診療の場などとして機能転換します。

⑨公園の通路を緊急車両の通路とします



⑥テニスコート前広場を物資供給の場とします

④会議室をボランティア諸室などとしてします

⑤政策決定室を災害対策室とします

非常用マンホールトイレ

公園駐車場

庁舎駐車場

車両動線

新庁舎

⑦センター広場をヘリコプターの緊急離着陸の場とします

⑧多目的広場を一時滞在場所や仮設住宅の場とします

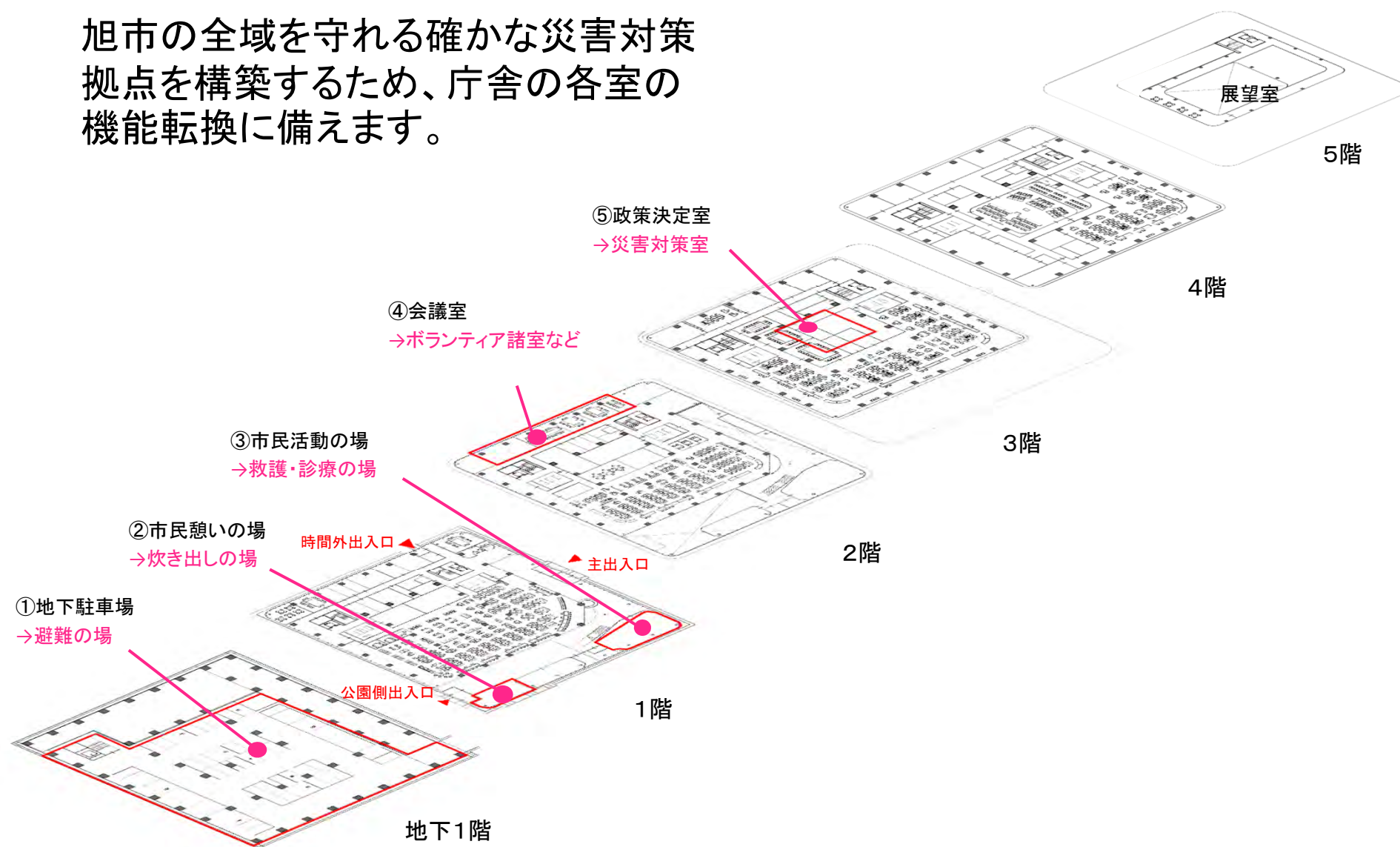
①来庁者用駐車場を避難・救護の場とします

②地下駐車場を避難の場とします

③市民活動エリアなどを救護・診療の場とします

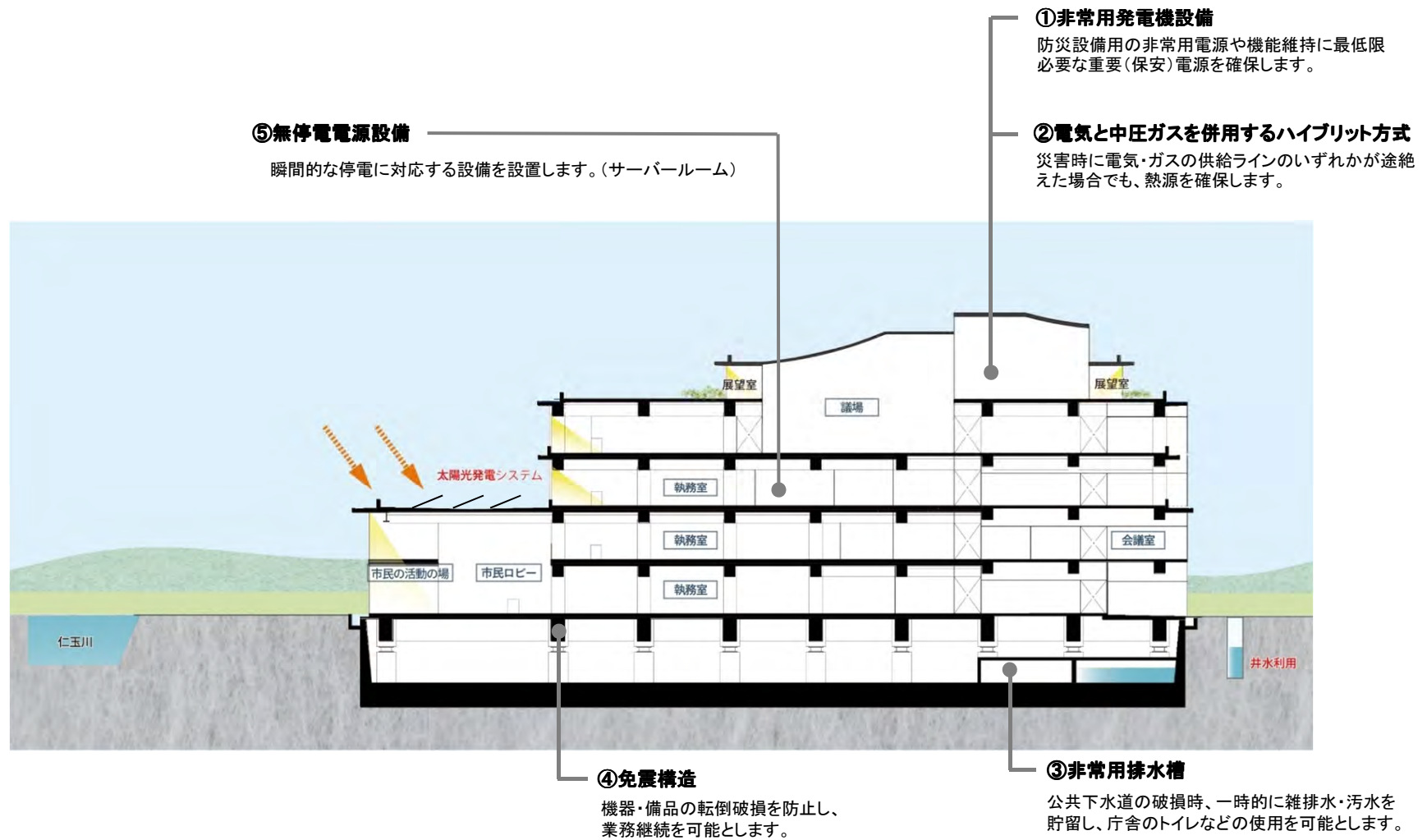
(2)庁舎全体で災害に向き合う計画

旭市の全域を守れる確かな災害対策拠点を構築するため、庁舎の各室の機能転換に備えます。



(3)防災計画

大地震発生後も損傷することなく、行政機能を維持できる安全な庁舎を計画します。



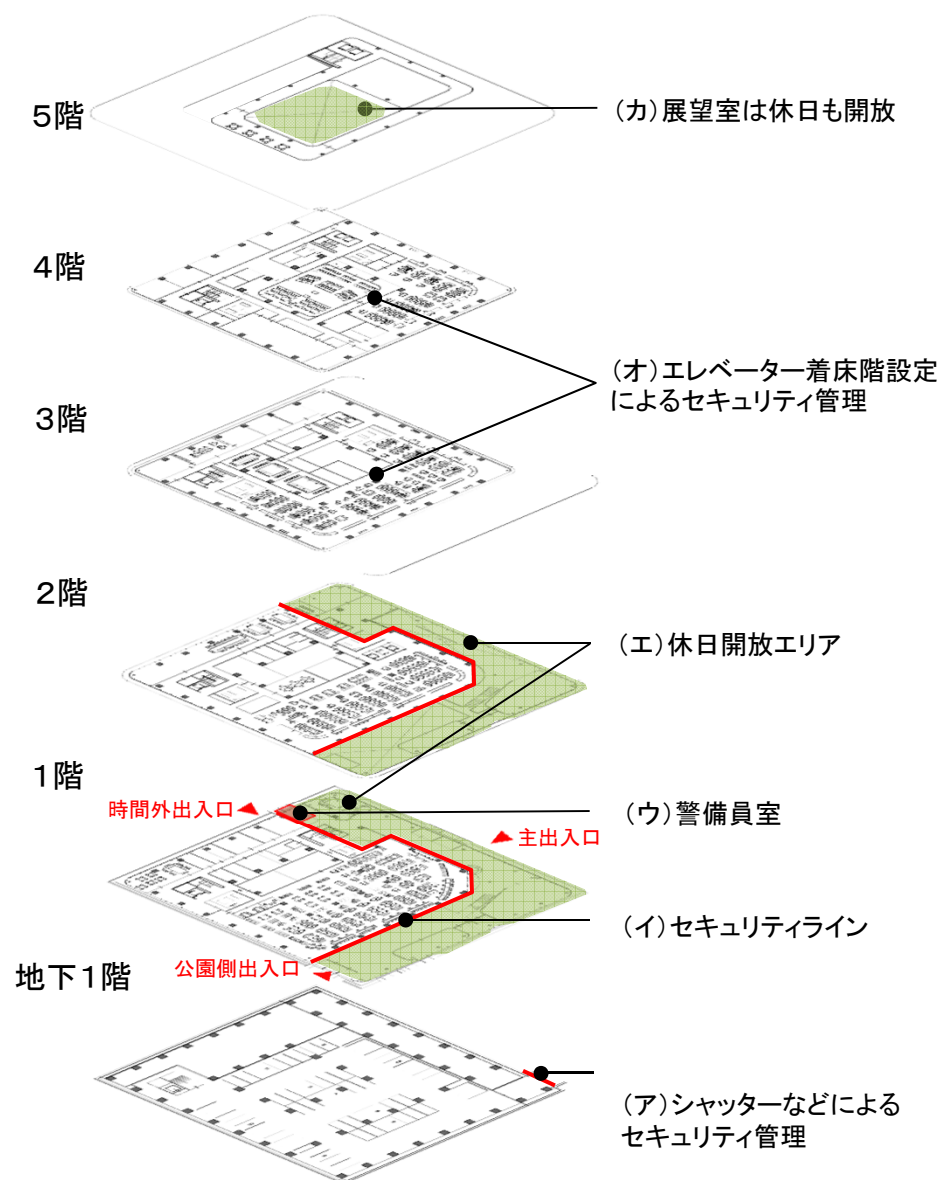
(4) セキュリティ計画

①セキュリティライン

個人情報の保護と防犯対策のため、市民活動エリアの利用に配慮して設定します。また、閉庁時間中の執務室内への立ち入りを、シャッターなどで区画し、関係者以外の立ち入りを制限します。

②警備員室

セキュリティの強化とともに、時間外(休日・夜間)の届出などに対応するために配置します。



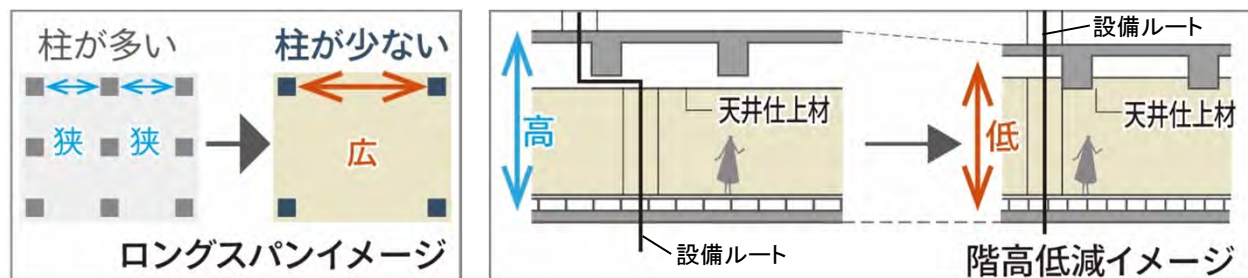
5. 生涯コストを抑えた施設整備

(1) 長寿命庁舎を実現する建築技術

①コストバランスを考慮した合理的な構造計画

(ア) 柱間を長くとれる構造とすることで、免震装置などの数を減らします。

(イ) 設備ルート of 合理化を図ることで階高を抑え、建物全体の高さを低くします。



②塩害対策

(ア) 各設備は極力屋内に設け、屋外に設置する室外機などは、耐塩仕様を採用します。

(イ) 屋外に面する建具類は、アルミ製を採用します。

③メンテナンスのしやすい庁舎

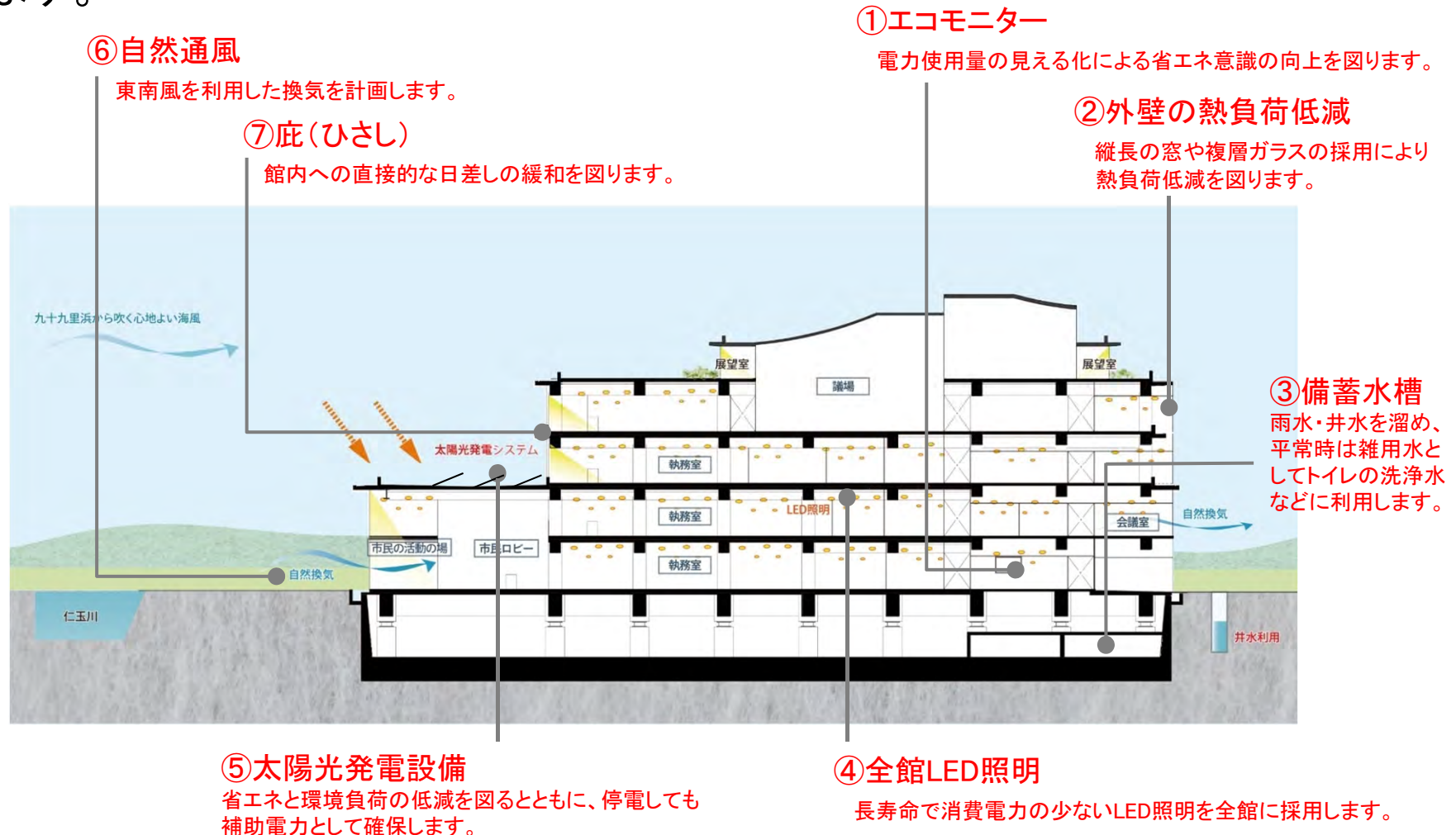
(ア) 各階にメンテナンスバルコニーを設け、日常的な窓・外壁清掃をしやすくします。

(イ) 配管・配線などの設備スペースは、ゆとりをもたせ、将来の設備増設や機器更新を行いやすくします。

(ウ) ガラスに光触媒(汚れにくい)塗料を施し、清掃回数を減らします。

(2) 環境計画

自然の力を効率良く取り入れるとともに、環境に配慮した電気・空調換気設備などを効果的に採用し、生涯コストの削減と環境負荷の少ない庁舎を計画します。



(3)電気設備計画

省エネルギーを実現し、快適な電気設備を計画します。

①電力引込設備

敷地境界より、地中埋設配管にて電力引込幹線を機械室まで引き込みます。

②受変電設備

機械室に受変電設備を設置し、高圧電力を低圧電力に降圧し、建物内に供給します。

③非常用発電機設備

地下オイルタンク(燃料備蓄量3日分)を設置します。

④太陽光発電設備

発電設備(20kw)を設置します。

⑤電灯設備

LED器具を採用します。

⑥コンセント設備

用途、機器の配置に合わせて、適切に配置します。

⑦幹線、動力設備

幹線は、ケーブルラックにて構築し、環境に配慮したエコケーブルを採用します。

⑧無停電電源設備

瞬間的な停電に対応する設備をサーバールームに設置します。
(機器費用、システム配線などの工事は除く)

⑨情報、通信設備

主要な幹線ルートは、ケーブルラックにて構築し、拡張性のある計画とします。
(システム配線などの工事は除く)

⑩誘導支援設備

トイレなどの呼出し装置やエレベーターの音声案内装置などを設置します。

⑪防災設備

火災報知設備など、消防法及び建築基準法に基づき設置します。

⑫防犯設備

入退室管理設備や監視カメラ設備などの配管を設置します。
(システム配線などの工事は除く)

⑬昇降機設備

エレベーター(車椅子対応)を庁舎東側に2台、西側に1台を設置します。

(4) 空調換気設備計画

人と環境にやさしく、快適な空調換気設備を計画します。

① 熱源設備

電気と中圧ガス(都市ガス)を併用するハイブリット方式を導入します。

② 空調設備

災害対策関連室は、他と別系統とし、災害時も運転可能となる計画をします。

③ 換気設備

建築基準法及び建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、室別に適切なシステムを採用します。

④ 排煙設備

自然排煙と機械排煙を併用します。

⑤ 中央監視設備

熱源設備や空調設備などの監視、運転制御を一元的に管理できる設備を計画します。

⑥ 自動制御設備

空調設備機器や衛生設備機器が状況に応じて適切な状態となるよう、自動的に制御する計画をします。

(5) 給排水衛生設備計画

省資源に配慮した、給排水衛生設備を計画します。

① 給水設備

飲用水(市水道)、雑用水(井水・雨水)の2系統給水とします。

② 給湯設備

個別に湯を出す局所式とし、給湯室に電気式温水器(飲用・洗い物用)を設置します。

③ 衛生器具設備

大便器は、節水型で雑用水対応の腰掛便器を採用し、洗浄便座とします。小便器は、自動洗浄式で雑用水対応の器具とし、節水と清掃性に配慮します。

④ 井水、雨水利用設備

備蓄水をろ過処理し、雑用水として利用します。
(さく井工事は除く)

⑤ 排水設備

高所から低所へ向って排水を流す重力式排水を原則とし、汚水と雑排水の2系統排水とします。

⑥ 消火設備

屋内消火栓設備やガス消火設備など、消防法に基づき設置します。

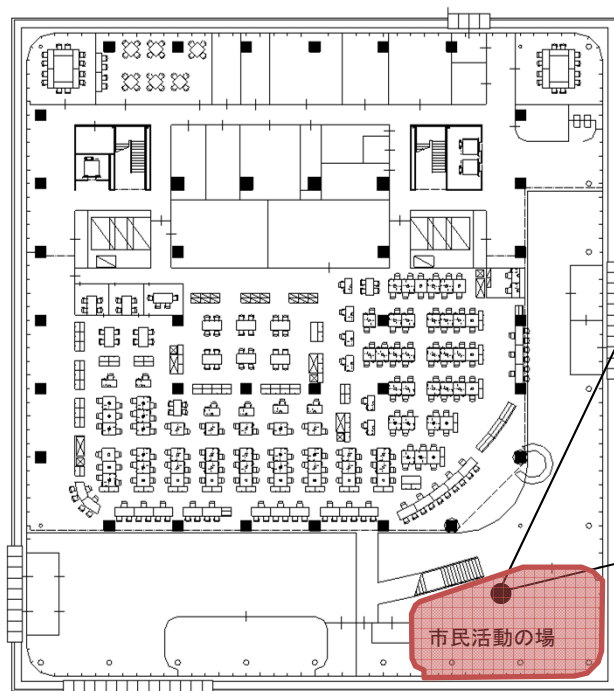
6. 新しいまちづくりの拠点

(1) 市民の創造する意欲を盛り上げる場

① 市民活動の場

各種発表会をはじめ、演奏会や期日前投票、税の申告相談など、幅広く利用できる場を計画します。

【1階】



【発表会イメージ】



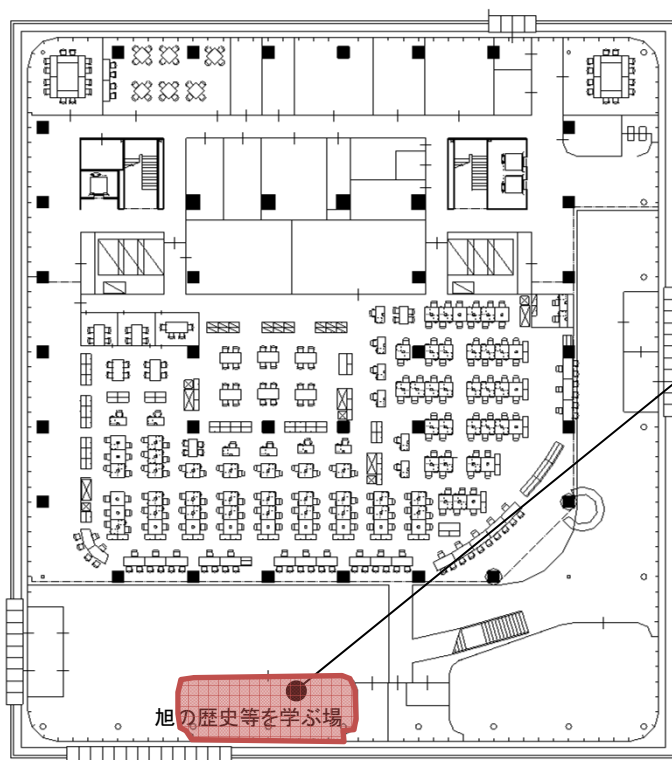
【期日前投票イメージ】



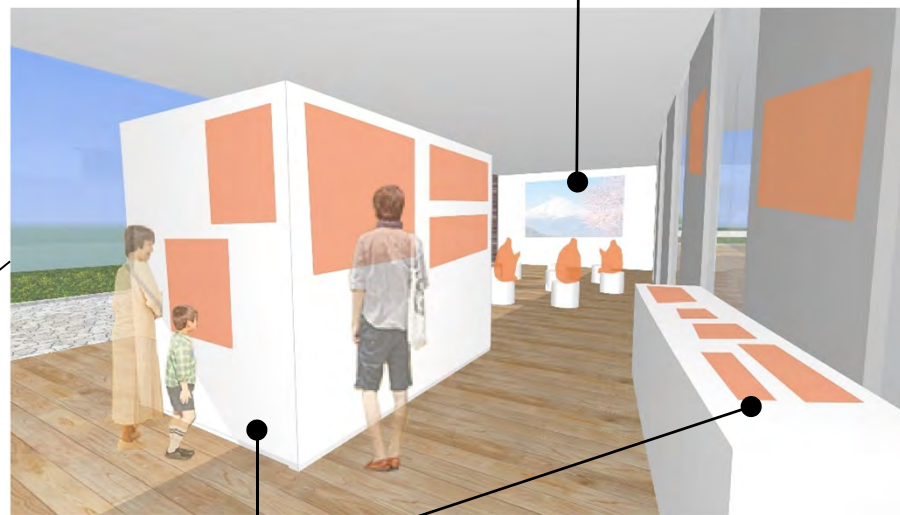
②旭の歴史等を学ぶ場

旭の歴史や偉人の展示会をはじめ、市政情報や市の観光情報などを放映するなど、来庁者が気軽に立ち寄れる場を計画します。

【1階】



【市の観光情報をスクリーンで放映イメージ】

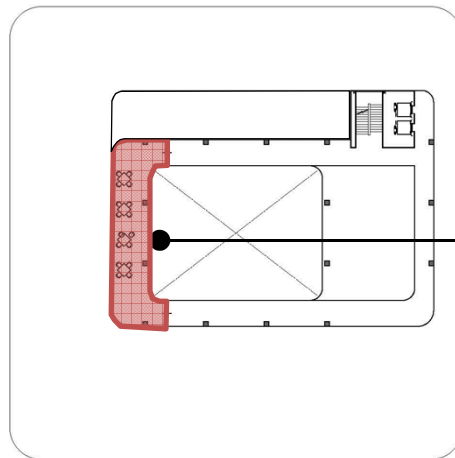


【企画展イメージ】

③市民憩いの場

軽食ができる休憩スペースを1階フロアと5階フロアに計画します。

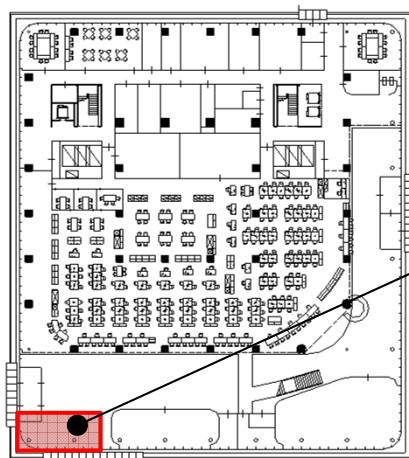
【5階】



【5階市民憩いの場】



【1階】



【1階市民憩いの場】



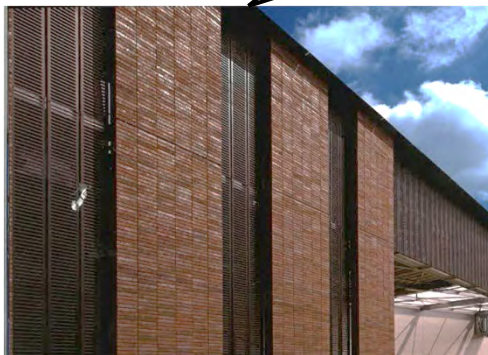
(2) 外観パース

白・黒・自然色を基調とした、質素でシンプルなデザインで、周囲の景観に調和した計画とします。

【正面玄関から見た外観イメージ】

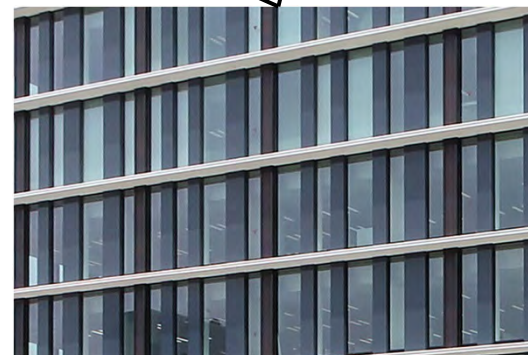


【旭文化の杜公園側から見た外観イメージ】



②低層部

ガラスを多く開放的なデザインに、土の質感を感じるタイルを組み合わせ、自然素材を生かした仕上げを計画します。



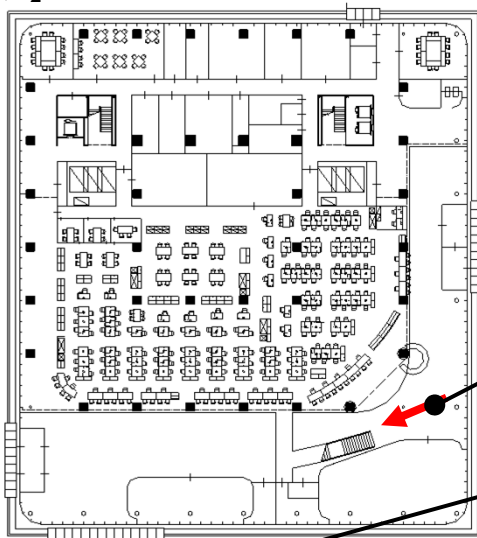
①上層部

縦長の窓を採用して、メリハリのあるデザインを取り入れます。

(3) 内観パース

内装の一部に木材を使用して、深みと安らぎのある空間を計画します。また、機能性が高く清潔さを保ち、清掃しやすい材料を採用します。

【内観イメージ】



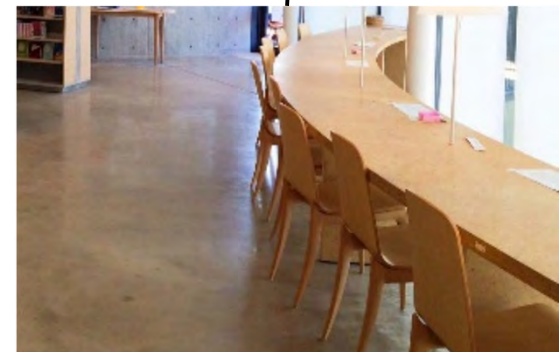
【1階内観イメージ】



③床



②天井



①家具

7. 工事計画

(1) 概算事業費

建設市場の動向や建築構造などにより、変動する可能性があります。

項 目	内 容	事業費
本体工事費	41万円/㎡ 地下駐車場 約2億円	約 50億円
外構工事費	2万円/㎡	約 1億6,000万円
解体工事費 (現本庁舎、第二庁舎)	3万円/㎡ アスベスト撤去費3,600万円	約 1億7,400万円
その他工事費	上水道1,300万円、排水500万円	約 1,800万円
計		約 53億5,200万円

(2) スケジュール

工場生産品やユニット化製品の積極採用により、騒音・振動の軽減を図ります。また、建設中の防災対策や公園利用者に配慮して新庁舎建設を進めます。

項 目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
基本計画						
基本・実施設計						
建設工事						
解体工事						